(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年 6月 26日

福岡市長 髙島 宗一郎 殿

提出者

住 所 福岡県久留米市東櫛原町487

氏 名 金子建設株式会社 代表取締役社長 金子泰大 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0942-31-0001

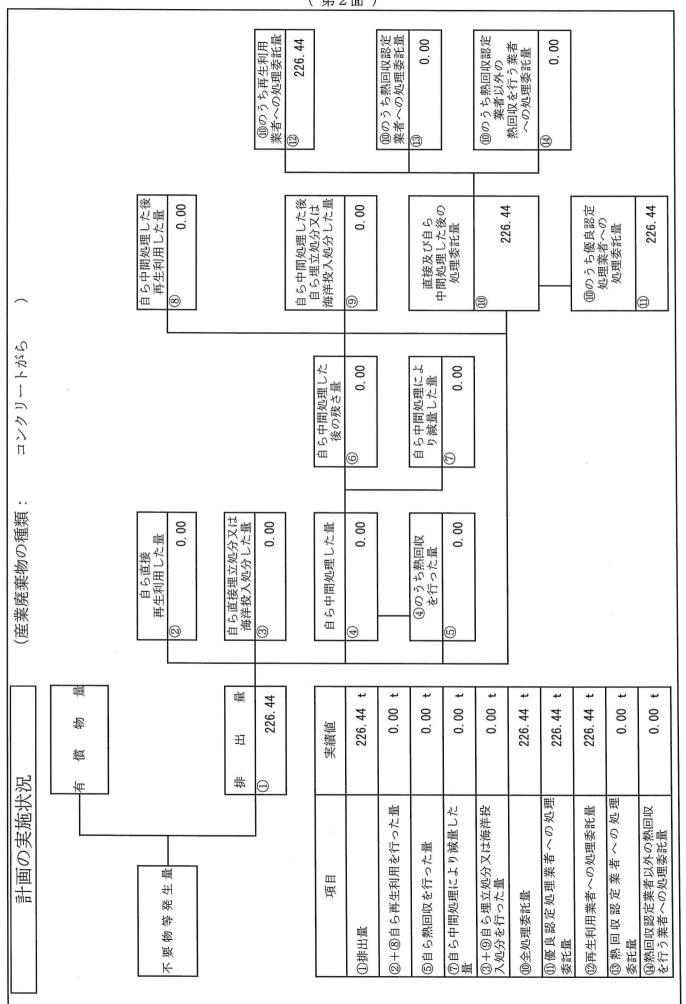
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物 処理計画の実施状況を報告します。

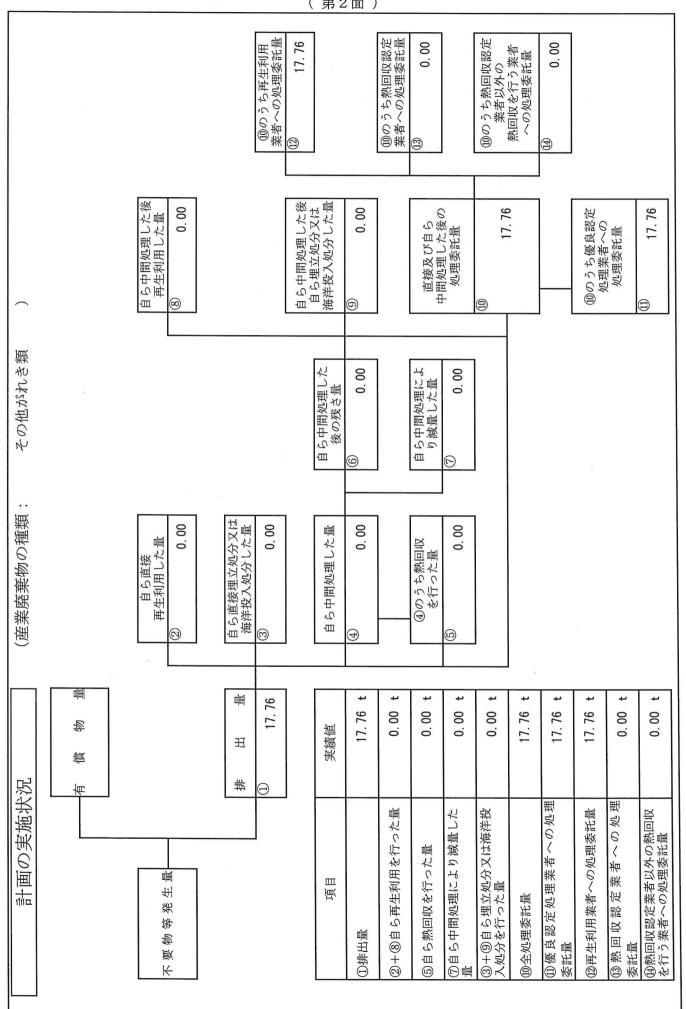
事業場の名称	金子建設株式会社 各現場、資材倉庫
事業場の所在地	久留米市東櫛原町487
事業の種類	総合建設業
産業廃棄物処理計画における 計 画 期 間	令和5年4月1日~令和6年3月31日

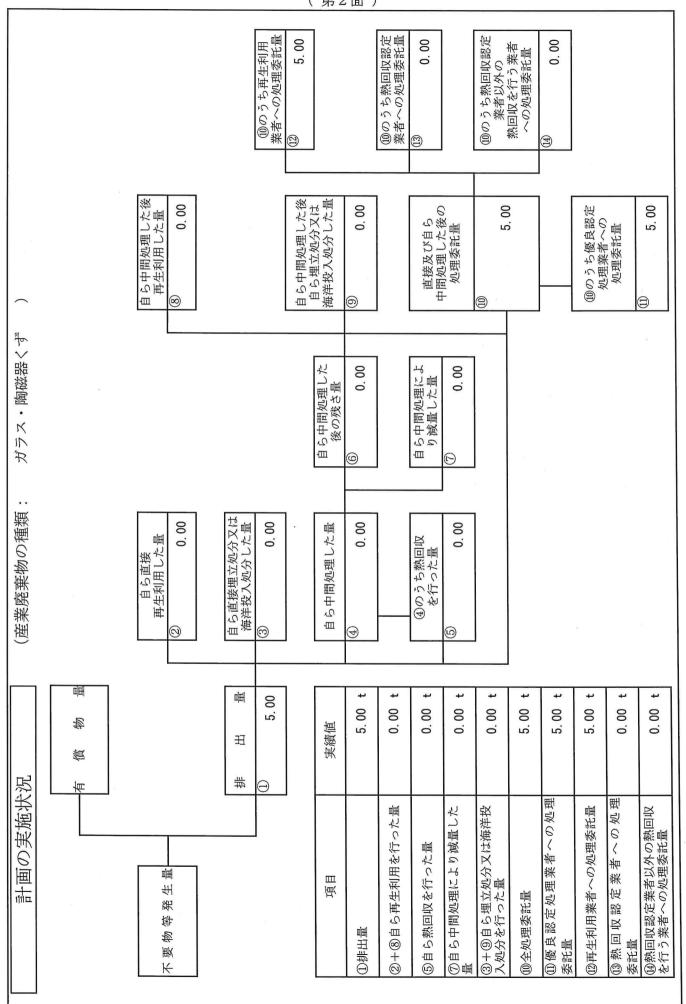
産業廃棄物処理計画における目標値

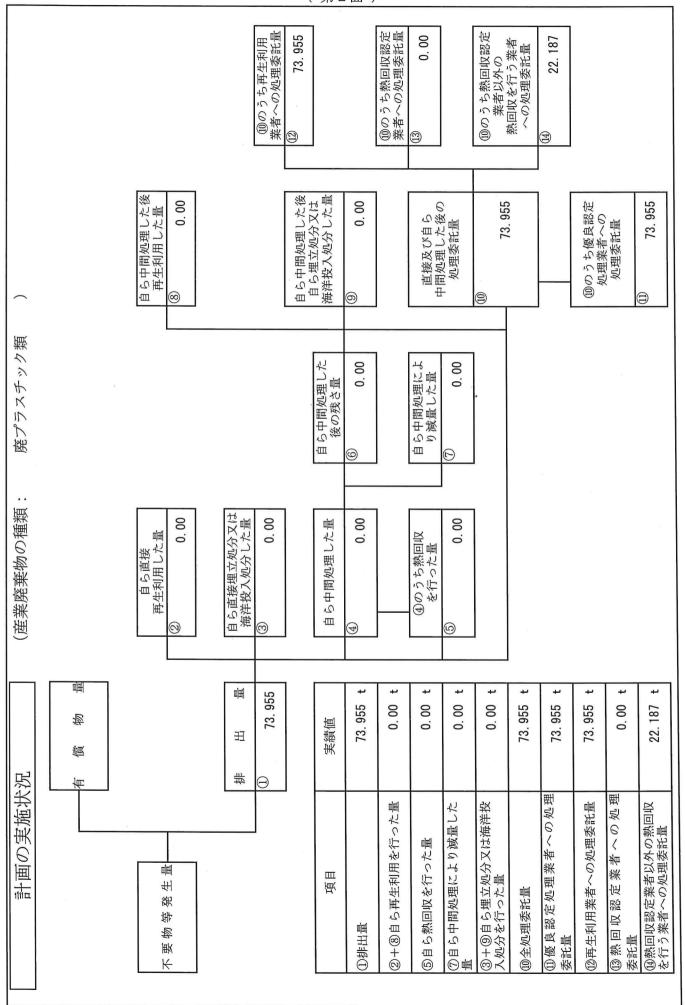
- / - / - / - / - / - / - / - / - / - /			ler'		
	項目		目標値		項目 目標値
排	出	量	1, 946	t	全 処 理 委 託 量 1,946 t
	生利用を行 経棄物の	· う 量	0	t	優良認定処理業者への 処理委託量 0 t
自ら熱産業廃		う量	0	t	再生利用業者への 処理 委託 量 1,946 t
	理により減量で 経棄物の	する 量	0	t	認定熱回収業者への 処理委託量 0 t
海洋投	立 処 分 又 入 処 分 を 行 蓬 棄 物 の	う	0	t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 36 t 処 理 委 託 量
事務処理構	—————————————————————————————————————				

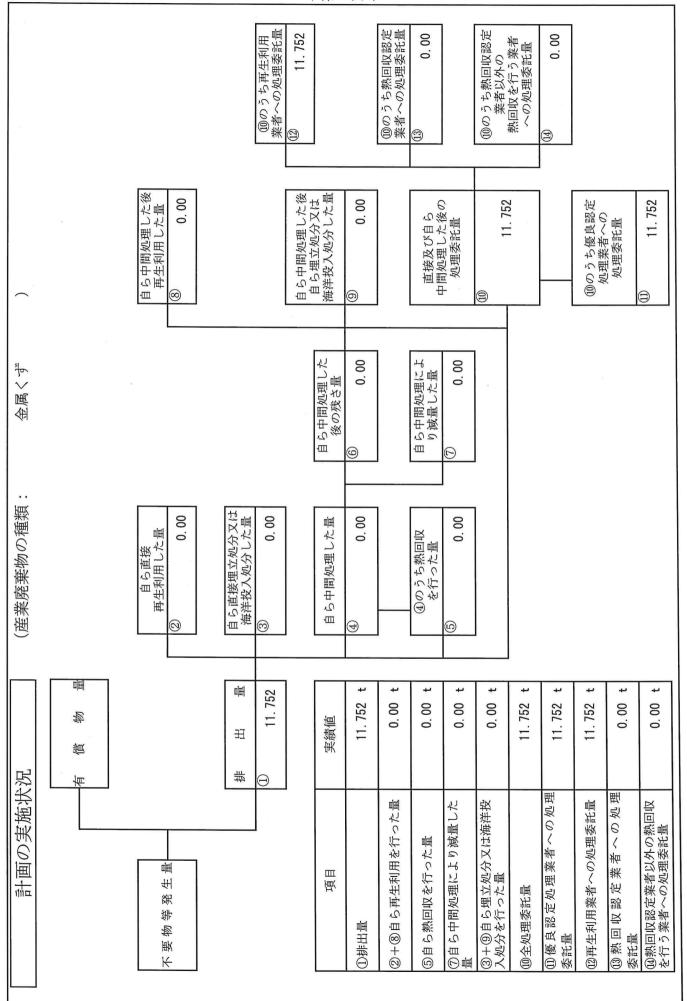
(日本工業規格 A列4番)

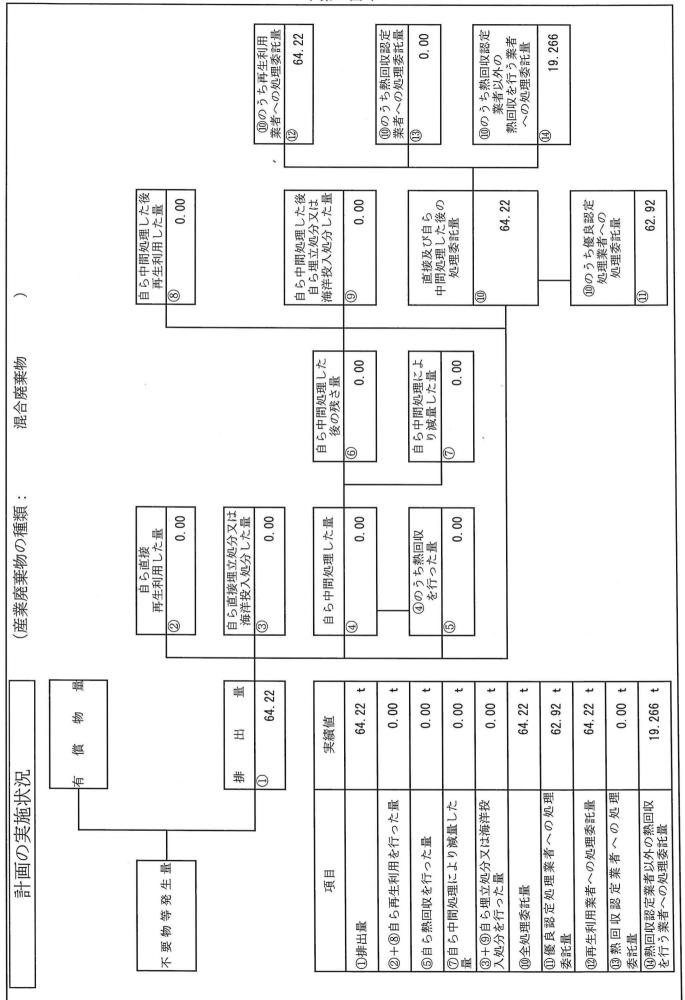


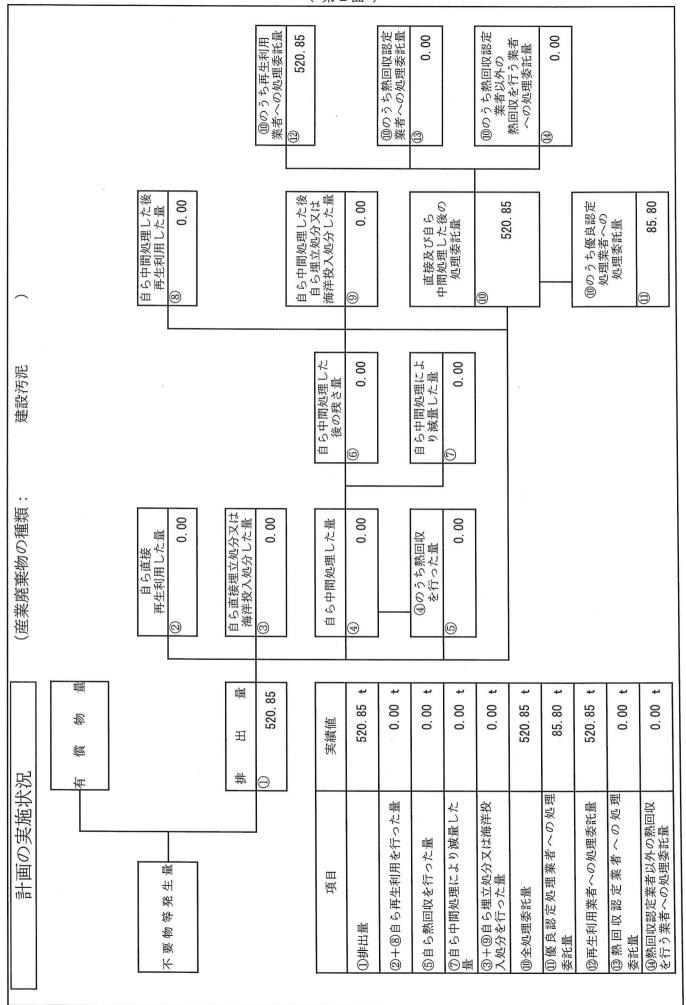


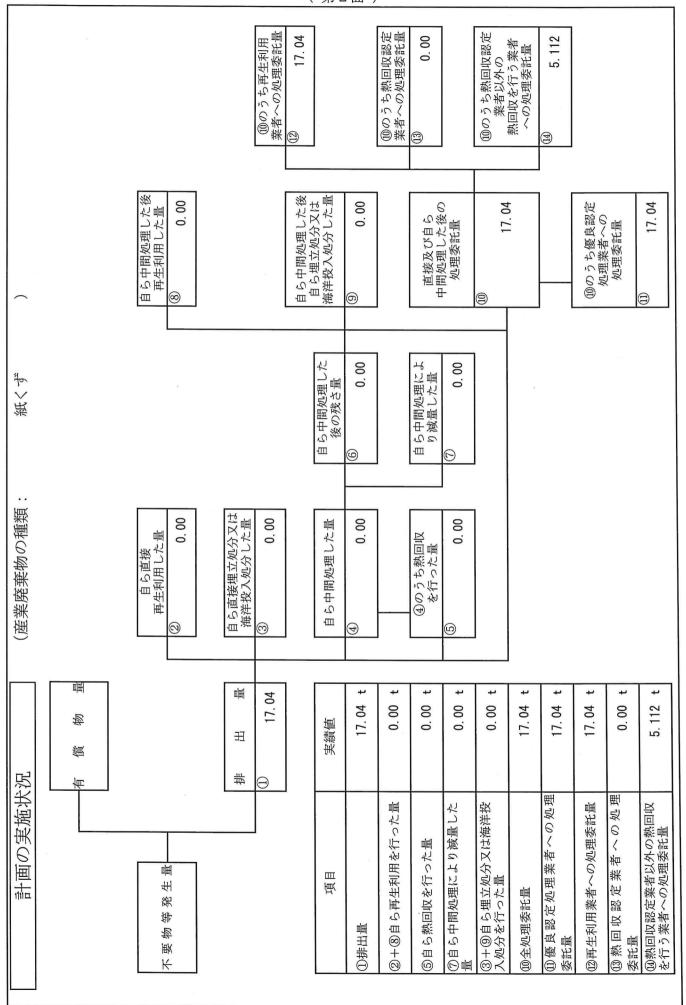


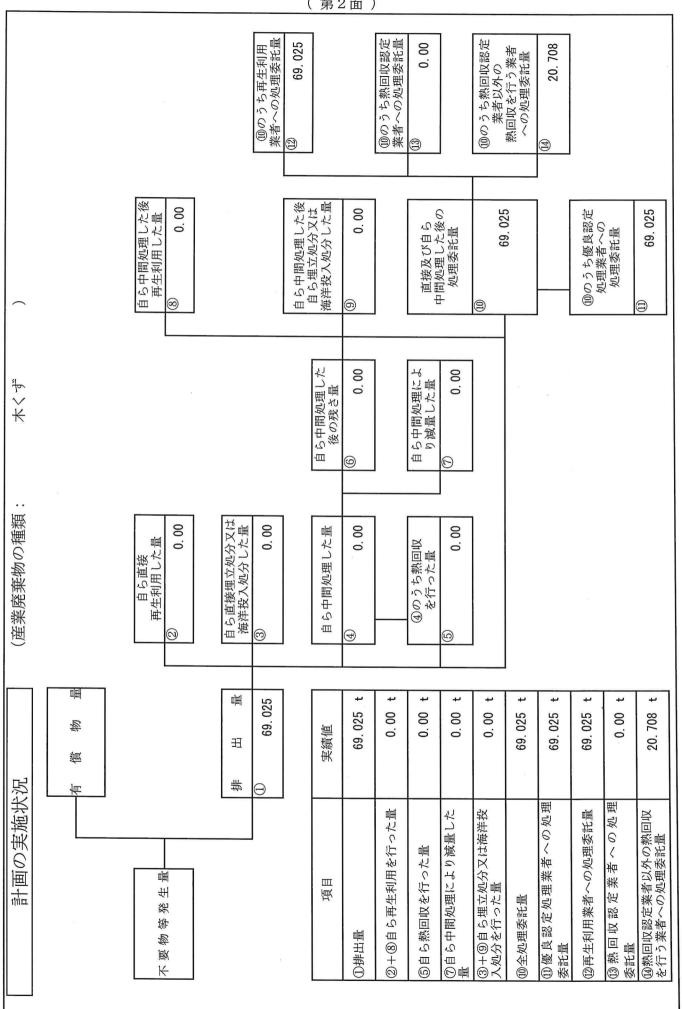


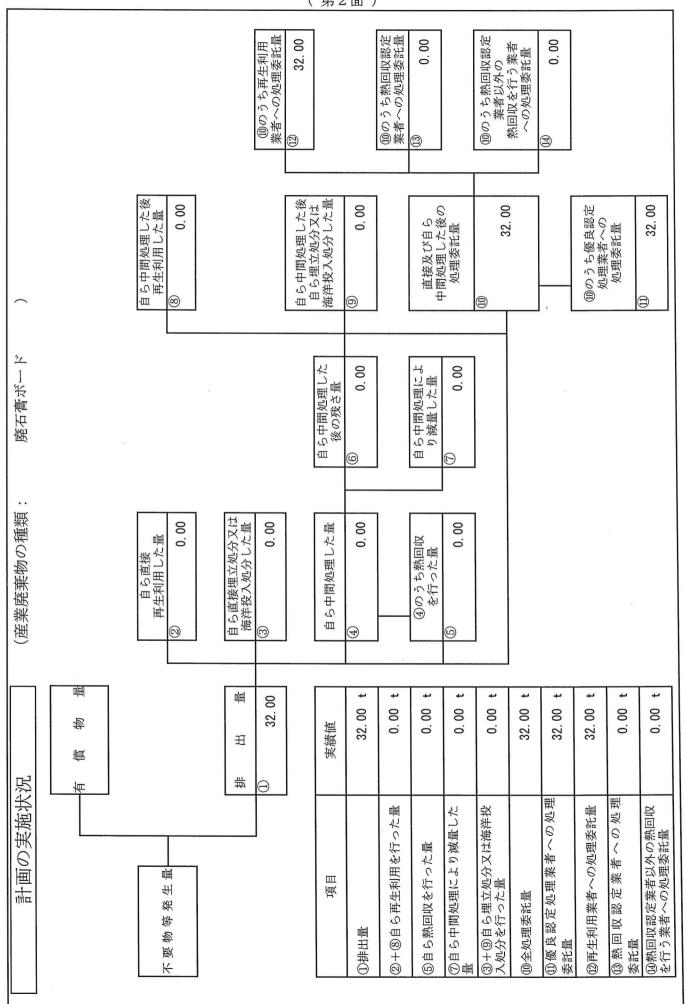












備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載 した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①~⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14) に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4) の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6) の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者 (廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令 第6条の11第2号に該当する者) への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ③欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律 第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への 焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記 入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃 棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和6年 6月 26日

福岡市長 髙島 宗一郎 殿

提出者

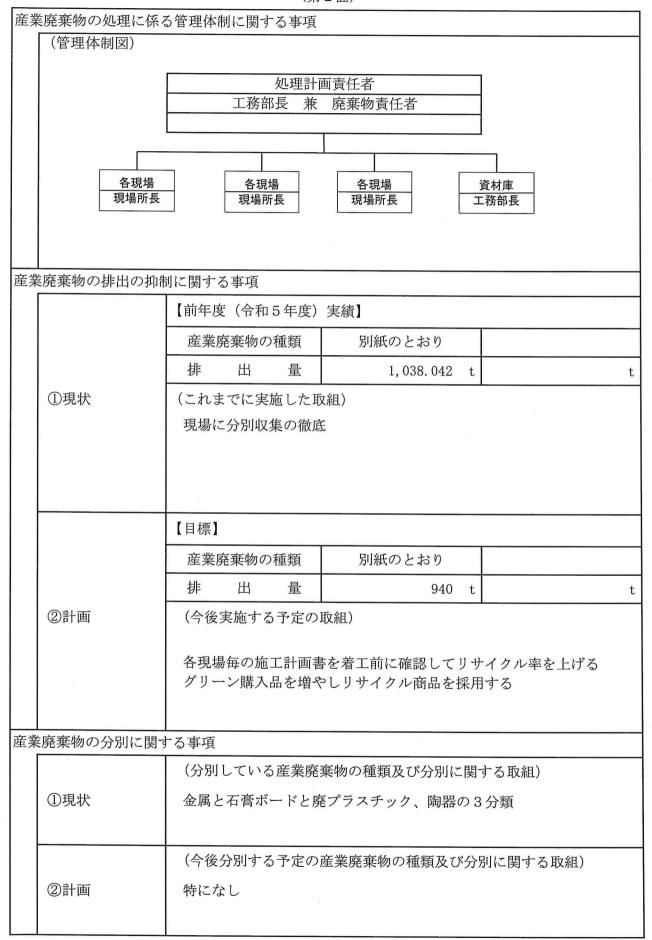
住 所 久留米市東櫛原町487

氏 名 金子建設株式会社 代表取締役社長 金子泰大 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0942-31-0001

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	金子建設株式会社 各現場、資材倉庫
事業場の所在地	久留米市東櫛原町487
計画期間	令和6年4月1日~令和7年3月31日
当該事業場において現に行	っている事業に関する事項
①事業の種類	建設業・総合工事業
②事業の規模	完成工事高 50億
③従 業 員 数	4 0名
④産業廃棄物の一連 の処理の工程	アスファルト コンクリート 木材 委託処理中間リサイクル 系形 廃プラスチック ガラス陶器クズ 委託処理 収集運搬 最終処分 埋立 最終処分 石膏ボード 委託処理 収集運搬 収集運搬 要託処理 長終処分 埋立 再資源

(日本工業規格 A列4番)



自身	っ行う産業廃棄物の	の再生利用に関する事項		
		【前年度(令和5年度)実	績】	
		産業廃棄物の種類		
	①現状	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
		(これまでに実施した取組)	
		なし		
		【目標】		
		産業廃棄物の種類		
	②計画	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
		(今後実施する予定の取組)) .	
		なし		
自身	っ行う産業廃棄物 <i>0</i> 「	つ中間処理に関する事項 		
		【前年度(令和5年度)実	績】	
		産業廃棄物の種類		
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	①現状	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の 量	. — t	, — ţ
		(これまでに実施した取組))	
		なし		
		【目標】		
		産業廃棄物の種類		
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	②計画	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の 量	— t	— t
		(今後実施する予定の取組)	
		なし		

自ら	行う産業廃棄物の地	里立処分又は海洋投入処分	た関する事項	
×		【前年度(令和5年度)	実績】	
		産業廃棄物の種類		
i.	①現状	自ら埋立処分 又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
		(これまでに実施した)		
		これまでに自社で埋立	[処分又は海洋投入処分を	·行った事はない
		【目標】		
		産業廃棄物の種類		
	②計画	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
		(今後実施する予定の)	取組)	
		なし		
産業	 廃棄物の処理の委詞	モに関する事項		
		【前年度(令和5年度)	実績】	
		産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
		全処理委託量	t	t
		優良認定処理業者 への処理委託量	t	t
		再生利用業者への 処理委託量	t	t
	①現状	認定熱回収業者 への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	t
		(これまでに実施した)	取組)	
		分別コンテナにて再生	三処理出来る廃材の回収率	⊠を上げる。
	1	I		

		目標】		
		産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	12	全処理委託量	t	t
		優良認定処理業者 への処理委託量	t	t
		再生利用業者への 処理委託量	t	t
		認定熱回収業者 への処理委託量	t	t
②計画		認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	t
	((今後実施する予定の)	取組)	
		・優良認定を受けた処	L理業者に委託を行なう様	に教育をしていく。
		・現場での再生処理・	杭残土を安定処理して埋	戻し土として利用し、
		発生量を抑える。		
※事務処理欄				

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。 (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成 工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規 模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のと おり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の 種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入 すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、 「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理·報告書 令和5年4月1日~令和6年3月31日 令和5年度 (福岡市)

(別紙內訳明細書)

金子建設株式会社

(t)		42	00	00	00	00	00	00	00	00	42	32	12	00	72
(1	11111111	1,038.042	0.000	0.000	0.000	0.000	0000	0.000	0.000	0.000	1,038.042	601.692	1,038.042	0.000	67.272
	メード 基石青ボード	32.000	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	32.000	32.000	32.000	0.0	0.000
	繊維くず	0.000	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.000	0.000	0.000	0.0	0.000
	木〈ず	69.025	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	69.025	69.025	69.025	0.0	20.708
	紙くず	17.040	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	17.040	17.040	17.040	0.0	5.112
	建設汚泥	520.850	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	520.850	85.800	520.850	0.0	0.000
	混合廃棄 物	64.220	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	64.220	62.920	64.220	0.0	19.266
26	石綿含有	0.000	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.000	0.000	0.000	0.0	0.000
	金属くず	11.752	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.752	11.752	11.752	0.0	0.000
	廃プラス チック	73.955	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	73.955	73.955	73.955	0.0	22.187
	ガラス・陶磁器	5.000	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.000	5.000	5.000	0.0	0.000
	その他が れき	17.760	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	17.760	17.760	17.760	0.0	0.000
	アスコンがら	0.000	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.000	0.000	0.000	0.0	0.000
	コンクリートがら	226.440	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	226.440	226.440	226.440	0.0	0.000
	項目	排出量	自ら直接再生利用した量	自ら直接埋立処分した量	自ら中間処理した量	④のうち熱回収を行った量	自ら中間処理した後の残さ量	④一⑥自ら中間処理により減量し た量	自ら中間処理後再生利用した量	自ら中間処理後、自ら埋立処分 した量	直接及び自ら中間処理した後の 処理委託量	⑩のうち、優良認定処理業者へ の処理委託量	⑩のうち、再生利用業者への処 理委託量	⑩のうち、熱回収認定処理業者 への処理委託量	⑩のうち、熱回収認定処理業者以外 へ熱回収を行う業者への処理委託量
	ON	Θ	0	60	4	<u>©</u>	@	0	∞	6	9		(2)	9	(<u>a</u>)

産業廃棄物処理•計画書 令和6年4月1日~令和7年3月31日 令和6年度 (福岡市)

(別紙內訳明細書)

金子建設株式会社

カラス・胸 腕ブラス 金属く寸 石綿含有	Œ
## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ##	111111111111111111111111111111111111111
(株式・	廃石膏ボード
A A A A A A A A A A	繊維くず
ガラス・胸 廃ブラス 金属くず 石綿合有 混合廃棄 建設汚泥 紙(本) 65.0 10.0 10.0 66.0 460.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 <td>***</td>	***
# 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	無くず
Aラス・胸 廃プラス 金属くず 石綿合有 混合的 表示	建設汚泥
Aラス・胸 廃プラス 金属くず 石綿	混合廃棄物
がラス・簡 廃プラス 金属ペチック 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.	石綿含有
がラス・簡	金属<ず
が一次では、一般を表現して、一般を表現れて、	廃プラスチック
	ガラス・陶磁器
から 15.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	その他がれた
5.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	アスコンがら
200.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	コンクリート
#出量 自ら直接再生利用した量 自ら直接再生利用した量 自ら直接埋立処分した量 自ら中間処理した後の残さ量 (4のうち熱回収を行った量 た量 自ら中間処理後、自ら埋立処分 した量 (6のうち、後しの関処理により減量し は重な及び自ら中間処理により減量し が理委託量 (6のうち、後しののうち、後の ののうち、後しののうち、後の ののうち、熱回収認定処理業者へ ののうち、熱回収認定処理業者 ののうち、熱回収認定処理業者 ののうち、熱回収認定処理業者 ののうち、熱回収認定処理業者	ш
S O </td <td>N N</td>	N N